

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公表番号】特表 2003-505294(P2003-505294A)  
 【公表日】平成 15 年 2 月 12 日 (2003.2.12)  
 【出願番号】特願 2001-512412(P2001-512412)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 T 8/48 (2006.01)**

**B 6 0 T 11/12 (2006.01)**

**B 6 0 T 13/16 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 T 8/48

B 6 0 T 11/12

B 6 0 T 13/16

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 3 日 (2007.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

図 4 は、液圧 - 機械式位置追跡コントローラがブレーキ圧力発生器ユニット 2 に付設されている点が図 3 と異なっている。この位置追従コントローラは第 2 の液圧室 2 4 を備えている。この第 2 の液圧室内には追従ピストン 2 5 が設けられている。追従ピストン 2 5 には調節棒 2 7 が付設されている。追従弁 2 6 が設けられているこの調節棒は第 1 のピストン 4 に作用連結され、その位置はばね 6 の変形によって変化する。車輪ブレーキ 8 , 9 , 1 0 , 1 1 の方に向いたポンプ出口側の第 3 の液圧管路 7 は第 1 の液圧ピストン室 2 8 に案内されている。この第 1 の液圧ピストン室は追従ピストン 2 5 によって第 2 の液圧室 2 4 から分離されている。第 2 の液圧室 2 4 から第 4 の液圧管路 2 9 が車輪ブレーキ 8 , 9 , 1 0 , 1 1 まで案内されている。ブレーキング操作時に、前述の実施の形態と同様に、圧力媒体はばね 6 を備えた第 1 の室 3 から管路 7 を経てポンプ 1 6 に供給され、圧力を高めて第 3 の管路 7 を経て第 1 のピストン室 2 8 に案内される。第 2 の液圧室 2 4 から押し出された圧力媒体容積によって、圧力が管路 2 9 を経て車輪ブレーキ 8 , 9 , 1 0 , 1 1 を付勢する。圧力の制御はここでは、追従弁 2 6 によって行われる。この追従弁はポンプによって発生した圧力に相応して、調節棒 2 7 によって開放される。それによって、所定の量の圧力媒体が第 5 の液圧管路 3 0 を経て圧力媒体補給容器 2 0 に戻され、それによって追従ピストン 2 5 と第 4 の管路 2 9 を経て車輪ブレーキ 8 , 9 , 1 0 , 1 1 に加えられる圧力が制御される。ポンプ 1 6 は更に、逆止弁 3 2 と絞り 3 3 を接続配置した第 6 の液圧管路 3 1 と、第 7 の液圧管路 3 4 を介して、圧力媒体補給容器 2 0 に接続されている。それによって、漏洩流、例えば第 1 のピストン室 2 8 内の圧力媒体の損失を生じる追従ピストン 2 6 の漏洩流を補償することができる。圧力低下はここでは、追従ピストン 2 5 内の中央弁 3 5 と圧力媒体補給容器 2 0 までの管路 3 0 とを介して可能である。